

職員研修だより

中央中等教育学校
 授業研究・FEWC推進部
 SUS研修① 第2号
 令和元年6月5日(水)

3年1組「英語B」星河聖先生

- Aさんは、皆がテキストに目を落としがちな中、教師の「アイコンタクトを」の言葉で、顔を上げて相手とにこやかに話せるようになった。
- 男子のみのペア、男女のペア等、学習形態の工夫により、全員の生徒が授業に積極的に参加していたし、表現力、意欲の向上につながると感じた。
- Bくんは教科書ガイドを持っていたため、模範的な答を言うのかと思っていたが、堂々と自分の言葉で発言できていた。また、その言葉もきかけて授業の流れが変わった。間違えても安心して言い合える雰囲気があるからこそ生徒が安心して話せるのは、周りから生懸命聞かれるから。そのような環境づくりを目指したい。
- 今日の授業のポイントを自分なりの言葉で表現するのか、板書を写すだけなのか、大きな理解の差につながるのか。
- 生徒が知りたいと思う課題設定、自信をもって発表するための情報共有の手立て、生徒への意識づけ等、学ぶことができた。



5年3組「コミュニケーション英語Ⅱ」泉極先生

- Aくんは、真剣な表情で授業に参加できていた。部活動でも、より深く、先を読んだプレイを見せられるのか。得意、不得意もある中で、一概には言えないが。英語コミュニケーション能力は、本校6年間の教育の成果だと確信した。
- 普段無口な生徒が、意外にも英語でコミュニケーションをとれている。日本語と違い、英語のスキル差が大きいので、活動ができるのではないかと。
- ぱっと辞書を引いたり、ぱっとメモをとったりする生徒とそうでない生徒の差が見られた。
- 英語（オールイングリッシュ）の大切さ、深い思考のために日本語での思考の深みと知識が必要であることを再認識した。
- ペア、グループ活動を意味あるものにするにはどうしたよいか、を改めて考えた。ただ話し合えば学び合っているとは限らない。意見が同じ、異なるを含め、共有し合い、自分の言葉で再構成して述べるのができていた。
- 教師が一人一人の考えをどうやって把握するのか。
- Bさんがしっかり聞き、受け止めてくれるから、普段話さないCくんやDくんも最後まで学び続けられていた。
- 他教科の授業を見ると、生徒の別の顔（資質・能力）が見られて良い。また、教科等を横断した学習のきっかけをつくることができる。
- Eくんは、自信がないからか、自分の発言の順番を待ってそわそわし、人の発言を聞かないところもあった。
- あるグループは、発表時、相手の目を見てうなずきながら聞いていた。他者への共感、好奇心が表情に表れ、その受容的態度は地球市民としての基礎だと思った。ただ、全体的に声が小さく、海外では相手にされないかもしれない。



—主体的・対話的で深い学びを実現させるために— 授業づくりの課題は何ですか？

その課題を解決するためにはどうしたらよいか、一緒に考えていければと思います。より良く研修を進めていけるよう、ご協力ください。

校長より

「わざわざ生徒の学びの様子を見る研修をなぜするのか？主体性のない生徒はどの授業でも同じだ」という声を一部の方から聴きますが、私は次のように考えています。主体的に参加できない生徒でも、集中できない生徒でもどこかに良さがあるはず。より多くの先生方で生徒を見ることで、良さをなんとか見いだしていくことが大切だと思います。生徒の良さを見つけて褒め、少しでも仲間と関わり集中できるよう試行錯誤し努力させていくことが大切だと思います。生徒の良さを見つけ、ご自身の授業との違いを見だし、そのことを指導方法のヒントにすることもできると考えます。

群馬大学 濱田先生より

- 生徒が「わからない」を出し、課題解決をしていくプロセスを重視すること、解決の手がかりとなるものにアクセスできる学習環境を用意することが大切です。
- 先生方が、「自分の授業づくりにおける課題は何か。」と具体的な問いを持つことが必要です。それによって、課題を解決するためにはどうするかを考えることができます。また、授業を見る際の新たな視点にもつながります。

「深い学び」

教科等の特質に応じた「見方・考え方」を「習得・活用・探究という学びの過程」の中で働かす。

- 知識を相互に関連付けてより深く理解する。
- 情報を精査して考えを形成する。
- 問題を見出して解決策を考える。
- 思いや考えを基に創造する。



授業における子どもの学びの経験の質

「聴き合い」

他者のことばを聴き、それを踏まえながら自分のことばを活動の場に出していくことが不可欠!



学ぶために「聴く」



※外から見える聞き方だけではない。

群馬大学 濱田先生講演資料より



今回の学年研修は、7月11日(木)です。よろしくお祈りします。

